

災害から身を守るための行動

避難行動について 避難行動には、「立ち退き避難」と「屋内安全確保」の2種類があります

立ち退き避難

指定された避難所や、避難場所以外の安全な場所、近隣の高い場所等へ移動することです。

屋内安全確保

建物内の安全な場所へ移動し、安全を確保することです。土砂災害では、立ち退き避難が基本となりますが、屋外での移動が危険な場合などは、立ち退き避難すること自体が危険な場合があります。そのような場合、山の斜面から離れた建物の2階などのより上階に退避してください。

避難行動の新しい考え方

「避難行動」とは、数分から数時間後に起こるかもしれない自然災害から「命を守るための行動」のことです。具体的には、以下のすべての行動が避難行動です。

- ① 避難場所・避難所への移動
- ② (自宅から移動しての) 安全な場所への移動 (公園、親戚や友人の家等)
- ③ 近隣の高い建物等への移動
- ④ 建物内の安全な場所での待機 (自宅の2階など)

水平避難
(立ち退き避難)



災害から命を守るための行動

垂直避難
(屋内安全確保)

水防のための避難立退地域一覧

河川名	避難立退区域	避難所番号	避難立退予定地	河川名	避難立退区域	避難所番号	避難立退予定地
富士川・船山川	南部町御崎原	29	円蔵院	富士川・福土川	南部町町屋	-	峯学校跡
船山川	本郷	-	本郷寺	富士川	西行	-	万沢増野
富士川	南部	105	南部中学校	"	越渡	-	旧万沢小学校
戸栗川	柳島	100	睦合小学校	福土川	矢島天王	-	観智院
富士川・谷津川	内船	-	南部分庁舎	"	西市組	-	森地内
大和川	大和	39	大塩公民館	有東川	御堂	71	龍徳寺
塩沢川	塩沢	-	蓮性寺	福土川	徳間	76	徳間多目的研修センター
富士川	福土	-	弘円寺	"	根熊	-	池ノ山地内

災害時要援護者福祉避難所一覧

記号	施設名	住所	電話番号	記号	施設名	住所	電話番号
94	ふれあいサロン	南部8050-1	64-3121	115	南部町活性化センター	福土28505-2	66-2111
97	南部町アルファセンター	内船8812	64-2075	116	万沢ふれあいセンター	万沢3471	67-3755
99	睦合ふれあいセンター	南部4890-1	64-2204				

安否確認

NTT 災害用伝言ダイヤル「171」

大地震や大雨などによる大規模災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に局番なしの「171番」に電話をかけることで、被災地以外の地域から安否の状況を音声で録音・再生することができるサービスです。

イナイ 171 にダイヤル

音声ガイダンス → 録音の場合 1 → 音声ガイダンス → 再生の場合 2 → 音声ガイダンス

被災地の方の電話番号を市外局番から入力

0556XXXXXX

伝言を録音します 伝言を再生します

NTT 災害用伝言板「Web171」

災害等の発生時、インターネットを利用して被災地域の方が伝言情報(テキスト)を登録できます。登録された伝言情報は全国から確認し、追加の伝言を登録することができるサービスです。

※各携帯電話会社の災害用伝言板に登録された伝言を検索することができます。

<https://www.web171.jp/> にアクセス

市外局番から電話番号 0556XXXXXX

または携帯電話番号を入力

伝言を登録する時 伝言を確認する時

伝言を登録します 伝言を確認します

地域防災

防災・減災の要となる「近助」・「共助」

災害による被害を未然に、または最小限に抑えるためには、「自助」・「近助」・「共助」・「公助」の連携が大切です。その中でも、**住民同士が協力し合って自分たちの身を守る「近助」・「共助」が防災の要**といえます。

災害時、一刻の予断を許さない状況では、自らの身の安全を自分たちで守り、近隣の人たちと協力して被害にあった人々を救助・救援しなければなりません。そのために町内会や自治会単位等で組織される自主防災組織の役割が大切になります。



災害に強い地域は、自主防災組織づくりから!



規模の大きい災害が発生した場合、防災関係機関だけでは対応に限界があります。

そこで、家庭における防災・減災への準備を進めておきましょう。災害時では、地域ぐるみの防災活動により地域全体の安全を守ることになります。

いざというときに被害を最小限に食い止めるのが自主防災組織ですから、日頃から訓練や講習会を通じて、正しい防災知識を身につけていきましょう。

自主防災組織の主な活動

平常時の活動

- 防災知識の普及
- 地域内の災害危険箇所などの確認
- 家庭内における安全点検の啓もう
- 防災用資機材の整備点検
- 防災訓練の実施
- 災害時要援護者の確認



災害時の活動

- 情報連絡班 災害に関する情報の収集と、住民に対する正しい情報の伝達
- 防火消火班 出火防止および初期消火活動
- 避難誘導班 住民の避難誘導活動
- 救出救護班 負傷者の救出、救護所への搬送、救護活動
- 給食給水班 水や食料などの配分、炊き出しなどの給食、給水活動



非常持出品

非常持出品は家族全員で話し合い、必需品は必要最小限になるように準備しておきましょう。一度に持ち出せなくても構いません。避難時の荷物はリュックに入れ、できるだけ両手が空くようにしましょう。電池の容量や消費期限などを定期的にチェックして、必要に応じて新しいものと交換しましょう。



- その他役立つもの ビニール袋、ライター、ローソク、ナイフ、手袋、トイレ用ペーパー、ビニールシートなど。
- 各個人に必要なもの 赤ちゃんのミルク、離乳食、おむつ、介護用品、予備メガネ、化粧品、鏡、常備薬、携帯充電器など。
- 家の戸締り等には注意を 避難の際は、火の始末と戸締りを忘れずに行いましょう。